

小田原市スポーツ施設整備基本計画策定検討委員会 第4回会議 議事録

開催日時	令和6年7月22日 14:00～15:15
内 容	第4回会議：スポーツ施設における全体方針及び個別課題に係る意見交換
場 所	小田原アリーナ 1階 大会議室
参 加 者	<p>【委員】柳澤 要氏（委員長、千葉大学大学院工学研究科教授）、 川邊保孝氏（副委員長、東海大学スポーツプロモーションセンター准教授）、 宮内宏人氏（小田原市自治会総連合）、 片山 勝氏（小田原市老人クラブ連合会）、 曾我卓正氏（小田原市 PTA 連絡協議会） 安藤 恵氏（小田原市体育協会） 菊亜由美氏（公募市民）、 木村 蒼氏（公募市民）、 野田ひろみ氏（小田原市スポーツ推進審議会・オンライン）、 水谷尚人氏（湘南ベルマーレ前社長）</p> <p>【オブザーバー】重田健太郎氏（県西地域県政総合センター企画調整部長）</p> <p>【事務局】小田原市 小澤スポーツまちづくり担当部長、 スポーツ課 穂谷野スポーツ課長、管理係 菊池係長（司会） 室橋主査、鈴木主事補、建設部みどり公園課 片野副課長 （株）パブリック・マネジメント・コンサルティング 齋藤正樹、川島慶之</p>
	<p>【司会】</p> <p>定刻となりましたので、ただ今から、小田原市スポーツ施設整備基本計画策定検討委員会第4回会議を開会させていただきます。</p> <p>私は、司会を務めさせていただきます、小田原市スポーツ課管理係の菊池でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、本会議は「小田原市スポーツ施設整備基本計画策定検討委員会規則」の規定に基づき、委員の2分の1以上の御出席をいただきましたので、会議が成立することを報告させていただきます。</p> <p>また、議事録等の作成の関係で、本会議を録音させていただきますので併せて御承知ください。</p> <p>今回、委員の変更がありますので、新任の委員の委嘱を行います。新委員におかれましては、御多忙の中、委員をお引き受けいただきありがとうございます。新委員への委嘱状は、小澤スポーツまちづくり担当部長からお渡しいたします。部長が新委員のお席を回りますので、お名前をお呼びしましたらその場で御起立をお願いします。それでは、部長お願いします。</p> <p>（新任委員への委嘱状交付）</p> <p>曾我卓正様、安藤恵様ありがとうございました。なお、神奈川県県西地域県政総合センター企画調整部長の重田健太郎様にはオブザーバーとして御出席いただいております。委嘱状のお渡しはございませんので御承知ください。</p> <p>本日は、野田委員につきましては、オンラインでの参加になります。また、木村委員につきま</p>

しては、都合により遅れて参加されるとの御連絡をいただいております。

それでは、開会にあたり、小澤スポーツまちづくり担当部長から挨拶いたします。

【事務局（小澤部長）】

皆さん、こんにちは。今日も非常に暑い中、会場にお越しいただきましてありがとうございます。野田委員はご自宅から、どうもありがとうございます。

この検討会も、今回で4回目を迎えることとなりました。2年間で行いますので、本年はまとめの年となります。皆様のご協力を切にお願いいたします。

今夏は、専らパリオリンピックに注目が集まっています。世界を舞台に活躍する選手も招集され、より多くのメダルも期待されています。小田原からは、パラリンピックのゴールボールという競技に、鳥居陽生選手が日本代表として出場すると伺っております。この地から、これからも未来のアスリートを輩出できるよう、またより多くの人々がスポーツを楽しめるようにするためにも、この計画を活かせれば良いと思います。

昨年度は中間報告ということで、生涯スポーツ社会の実現を目指して、計画の骨子となる基本方針「誰もが気軽に安心して利用できる場の醸成」と、4つの実施方針を定めてまいりました。詳しくは、お手元にご用意した中間報告の冊子を後ほどご覧ください。

今年度は、その基本方針と実施方針を考慮しつつ、各種事業の優先順位を決めながら、短期・中期・長期に分けた計画を定める予定になっております。併せて、いくつかの取り組みについてはモデルプランを作成し、詳細な進め方を皆様にお示しできればと思っております。

本日は、そのための検討材料となる資料をご用意しております。詳細はこの後、課長からご説明いたします。皆様と活発な意見交換ができればと思っておりますので、本日はよろしく願いいたします。

【司会】

それでは、これより議事に入っていただきたいと思っております。以降の進行は委員長にお願いいたします。

【柳澤委員長】

本日もよろしく申し上げます。それでは、議事に入る前に、本日の会議の公開および非公開について事務局から提案があるということで、説明をよろしく申し上げます。

【事務局】

この委員会は、「小田原市情報公開条例」に基づき、原則として公開することになっております。従いまして、市民の方などが傍聴される場合がありますので、ご承知ください。しかし、本日次第2・議事（2）新規スポーツ施設のモデルについての説明および意見交換につきましては、まだ未確定の内容を事務局から提案提示させていただくこととなりますので、公開することによって市民の皆様にご混乱を生じさせたり、率直な意見交換に支障をきたす恐れがあることから、非公開とさせていただきたいと考えております。このことについて、皆様のご意見をお伺いできればと思っております。事務局からは以上です。

【柳澤委員長】

ただいま、事務局から本日の会議について一部非公開とすることが示されました。委員の皆様から、何かご意見がありますか。

特に問題ないですか。それでは事務局からの提案通り、本日の会議は一部非公開で行うことといたします。次に、議事に入る前に事務局から本日の資料の確認をお願いします。

【事務局】

それでは、本日の資料の確認をさせていただきます。皆様には事前に郵送させていただいておりますが、修正があったものがございますので、本日は一部、卓上配布させていただいておりますのでご注意ください。

まず、今回第4回会議の次第です。次に、本日卓上配布させていただきました資料1がA3の「小田原市スポーツ施設の方向性」という資料です。資料2はA3裏表の「市有スポーツ施設の事業計画」です。資料3はA4の「優先順位判定基準（案）」です。資料2と3は、差し替えはございません。資料4-1、4-2と書かれているのが、A4の「特出し4施設の整備方針（案）」です。こちらも卓上配布させていただいております。

本日、追加で卓上に配付させていただいております参考資料が、A4の「スポーツ庁 スポーツ施設のストック適正化ガイドラインの抜粋」と、本日の会議に関するアンケートです。また「小田原市スポーツ施設整備基本計画の中間報告」も、卓上配布させていただいております。資料は以上となります。過不足等ありますか。

それでは、委員長よろしく申し上げます。

【柳澤委員長】

それでは資料を確認いただいたので、早速本日の次第に沿って議事を進行したいと思います。次第2・議事（1）各スポーツ施設における方向性および事業計画について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは（1）の各スポーツ施設における方向性および事業計画についてご説明させていただきます。資料は、先ほど確認させていただきましたが、若干順不同になりして、資料1、資料4-1、資料2、資料3の順で説明をさせていただきたいと思っておりますのでご承知ください。

まず各施設の方向性の検討にあたりましては、本日卓上で追加配布させていただきました、スポーツ省が策定した「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」を参考にしながら、各施設の劣化状況などを把握するための現況調査を行いました。

その上で、昨年令和5年度に取りまとめた基本方針・実施方針に基づきまして、各施設の利用状況、利用団体のニーズなども加味し、施設が抱える課題解決のための整備の方向性の他、3つのカテゴリに分けた整備方針を整理しました。

整備方針の1つ目は「長寿命化」です。これは計画的に改修等の保全を行い、現在の施設をより長く使用することとします。

2つ目は「機能改修」です。これは経年劣化への対応を目的に改修していくことです。

3つ目は「機能移転」です。これは施設の状況などから現地で維持管理し続けることが困難で

あると思われる場合、その施設の機能も含めて他の場所へ移転を検討するというものです。

これから施設ごとに説明させていただきますが、酒匂川スポーツ広場と御幸の浜プールにつきましては、喫緊の課題がありまして優先的な対応が想定されます。後に別途資料4-1を用いて資料を説明させていただきます。

また下段の「新規施設の検討・方向性」につきましては、この後、議事（2）で別途説明をさせていただきます。

それでは、既存施設の方向性のうち、まず小田原アリーナについてです。こちらは竣工から28年が経ちまして、施設の老朽化が見られるようになっております。「小田原市の公共施設再編基本計画」によると、標準耐用年数は70年としているため、建物の整備方法方針は「長寿命化」といたします。小田原のスポーツ振興拠点として、スポーツをする、あるいは見る機能を強化し、よりスポーツを楽しめる施設としての整備方針を整理いたしました。

次は城山陸上競技場です。こちらは開設から70年近く経過しており、急な傾斜の観客席などに課題がございます。この施設に対してさらに長寿命化を図ることは、なかなか現実的ではありません。そのため、陸上競技に関しては公認競技場を継続していくと共に、ラグビーなどの大会や興行にも対応できるように、スポーツを見る機能の強化へ改修していく視点で、「機能改修」と整理いたしました。

次は、小田原テニスガーデンです。こちらは小田原アリーナと同時にできた施設になります。現在、およそ10年を目安に人工芝の張り替えを行っております。夜間照明も既にLED化していることなどを踏まえますと、アリーナと同様に「長寿命化」という整備方針といたしまして、計画的に設備改修を行っていくことといたしました。

次は、城山庭球場です。この施設は城山陸上競技場と同様に、長寿命化を図ることはなかなか現実的ではありません。また過去には、小田原テニスガーデンへ機能移転する考え方もありました。しかし、実は近隣他市町に比べて本市は人口比でのコート面数が少ない状況にあることがわかりました。そのため、利用環境の向上として、コート面などの改修を行っていく「機能改修」という整備方針といたしました。

次は、小峰庭球場です。コートのひび割れなどの課題に個別に対応していくというより、機能改修をする城山庭球場へ統合していく「機能移転」と整備いたしました。

次は、城内弓道場です。現在の状態を維持していくため、「機能改修」という整備方針といたしますが、小田原城の史跡内の施設であるため、改修等をする際の制約がございます。そのため、史跡以外の適地への移転・設置についても検討していくことといたします。

次は、鴨宮運動広場です。グラウンド整備やフェンスの改修など、利用環境の向上を図っていくために「機能改修」という整備方針と整理しました。

次は、上府中スポーツ広場です。サッカーで利用する場合に広さが十分確保できていないといった声もございます。そのため、必要な広さを確保するための改修を行うために整備方針を「機能改修」と整理いたしました。

次は、小田原球場です。一定の設備を有しまして、プロ野球や高校野球の試合にも使用されております。これまでも計画的な改修により施設を維持してきております。今後も継続的に必要な改修を行っていくため、整備方針を「長寿命化」と整理いたしました。

次は、酒匂川左岸サイクリング場です。この施設は、一般財団法人小田原市事業協会が整備して、現在はスポーツ課が管理しております。

酒匂川スポーツ広場同様、冠水の影響を受ける施設であるため、被害を受けた際には復旧に相当の時間と経費を要することや、河川区域であるため大規模な改修が困難です。当面は現状を維持してまいります。致命的な損傷が生じた場合には適地への移転を検討することとして、整備方針を「機能移転」と整理いたしました。

次は、酒匂川サイクリングコースです。今後も快適にサイクリングやウォーキングなどに利用いただけるよう、状況に応じた改修を行なっていきながら利便性を向上させることとし、整備方針を「機能改修」と整理いたしました。

次は、上府中バスケットコートです。こちらは令和5年4月からの新しい施設であるため、今後は施設の状況に応じて必要な改修を行うこととし、整備方針は「長寿命化」と整理いたしました。

それでは、冒頭にお伝えしました酒匂川スポーツ広場と御幸の浜プールについて個別に説明をさせていただきますと思います。

資料4-1「特出し4施設の整備方針（案）」の酒匂川スポーツ広場をもって説明させていただきます。これらの施設は、天災による被害の影響が大きいことや、施設の損傷が大きいことから課題が大きいと考えています。そのため、より踏み込んだ方向性を早期に確定させたいと思います。この2施設を特出しする施設として選択することが良いかどうかを含め、後ほど皆様からご意見をいただきたいと思います。

まず酒匂川スポーツ広場です。この施設の最大の課題は、冠水による長期使用中止と、復旧に多額の経費が必要になる場合があることです。

そこで今後の方向性として、当初は移転して再整備することも検討いたしましたが、この広場を利用する競技団体からは、一日でもこの広場を使い続けたいという考えが把握できました。

そうすると、市といたしましては現在の施設を現状維持して、これまで通りメンテナンスしながら長く使用していく「長寿命化」という整備方針がベストではないかと考えております。

ただし、大雨による冠水を防ぐための方策として、酒匂川とグラウンドの間にある管理用通路の嵩上げ、河床の掘り下げ等の対応について、酒匂川管理所管となる神奈川県との調整もしていきたいと考えております。また冠水した場合の対策として、事前測量によって基準値を計測することで復旧期間を短縮することや、市内の他施設利用の可能性を調整していくことも考えています。

特に民間企業のグラウンドにつきましては、これまでは地域開放には一定の課題がありましたが、災害により利用できない一定期間があればご協力いただける企業もいくつかありました。さらには、全ての予約に代替施設を用意するのではなく、例えば市民が使用する場合については代替を検討するなど、一定の基準も必要ではないかと考えています。

移転再整備については、現時点では難しいと思いますが、将来的に用地取得を要しない公用地などの適所があり調整ができれば、グラウンド整備の可能性も出てくるものと考えています。仮候補地としていたしましては、鴨宮運動広場や上府中公園内を想定しています。

続きまして、御幸の浜プールです。現在はABCの中のCプールに大きな亀裂があり、利用を中止しております。亀裂自体はBプールにもありますが、こちらは簡易修復をして利用できる状態になっています。

さらに、プールの水の濾過装置やポンプなども相当老朽化しています。付近には駐車場もなく、周辺道路も狭く、公共プールとしての立地は必ずしも良いとは言えません。

そこで今後の方向性としては、まずは現状を最小限で維持し、これまで同様に夏季限定の利用

を継続していきます。

なお、致命的な損傷、プール内の大規模な亀裂などによる水漏れ、修復不可能な濾過装置・ポンプ装置等の故障が発生した場合は、閉場せざるを得ないと考えております。閉場した場合は、近隣の周辺環境にある、適した施設の利活用が望ましいと考えます。

令和6年2月に、市内のスイミングクラブ、スポーツプラザ神奈中小田原が閉店いたしました。仮に今後も閉店などがあり、近隣の南足柄市の温水プールなど広域的利用も含めて、圧倒的に市民が利用するプール施設が不足することが把握できた場合は、新たなプール建設を検討していかねばならないと考えています。そのため、整備方針については、現地の状況や今後の方向性などを踏まえて「機能移転」と整理いたしました。

続きまして、資料2「市有スポーツの事業計画」をご覧ください。ここまで説明いたしました資料1の方向性に基づいて、施設ごとの具体的な事業について、優先度を考慮しながら、いつを目安に行っていくかを示したものです。こちらはまだ調整中の内容です。次回の第5回会議では、精査したものを改めてお示しします。一応、このような考え方の資料を用意するというので、改めて次回にもお示ししたいと思っております。

続いて資料3をご覧ください。資料2で示しました各施設の個別の対策事業と線表グラフの矢印については、優先順位を考えながら作成していくこととなります。この資料では、中間報告の際に優先順位の考え方でお示した「安全・機能的」「利用特性」「経済性」の各個別項目を判定項目として、状況に応じた配点をし、その結果から優先順位を決めていきたいと考えています。

現時点ではその配点も決まっておりません。詳細につきましては、次回第5回の会議の際にお示ししていきたいと思っております。

本日ご説明した資料のうち、資料2については今後精査していきますので、あくまでもイメージとして捉えていただきたいと思います。資料2の内容については議論いたしません、それ以外の資料について、皆様からの忌憚ないご意見、ご質問を伺いたいと思っております。私からの説明は以上となります。

【柳澤委員長】

ただいま説明が終わりました。ご意見、ご質問等がある方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いいたします。

【川邊副委員長】

ご検討ありがとうございます。方向性について1つ質問があります。機能移転の施設が3つありますけれども、御幸の浜プールについては、閉場も想定と書かれています。その他の施設について、移転後の跡地利用などについて何かお考えがあれば教えていただければと思います。

【事務局】

御幸の浜プール以外では、例えば小峰庭球場は、今のところ城山庭球場の改修に併せてどちらに機能移転をするのか考えます。跡地につきましては、こちらはもともと城山公園内にある設備になりますので、おそらくそうなった場合には更地にするなどして公園内に戻す形になると思っております。

ただし、小峰庭球場は近隣の競輪場の臨時駐車場も併設しておりますので、その辺の兼ね合い

があるかと思えます。しかし、まずは公園に戻すことになると思っております。

酒匂川左岸のサイクリング場は、もともと小田原市事業協会が底地整備をしております。こちらにも機能移転でどちらかに戻った場合、河川区域になりますので、更地にします。今のところ、特に新たな施設を設けることは想定しておりません。以上になります。

【柳澤委員長】

承知しました。それ以外に何かご質問やご意見はありますか。

【宮内委員】

方向性のところで、小峰庭球場は統合する可能性もあるということでした。先ほどテニスの面数が足りないという話があり、小峰を閉鎖してしまうと面数的に不足するのではないかという気がしますが、どう考えますか。

また、上府中スポーツ広場のサッカー利用時の面積不足についてです。面積が不足しているなら、物理的に広くすることはできるのでしょうか。

左岸サイクリング場については、致命的な損傷が発生した場合は移転を検討するという話でした。まずは適地があるかどうかというのが1つと、そもそも左岸サイクリング場の稼働率が気になります。

資料4のスポーツ広場について、冠水時の対応に代替地の利用基準があります。どこかの企業がお持ちの運動場等を借りることを考えていますが、当てはあるのでしょうか。

次はプールの話です。プールは、私も小さい頃によく行っていたのでなくなるのは寂しいです。将来的なプール不足は、市内にある学校プールやスポーツクラブのプールを活用するのでしょうか。新規にプールを作るというのは大変な気がしますが、その辺をどうお考えでしょうか。

最後に、優先順位を決める際、判定項目と点数はどのような基準で付けるのでしょうか。点数はまだ決まっていないということでしたが、感覚では付けられないので、なるべく具体的なガイドライン的なものを作るなど工夫が必要だと思います。

以上6項目ほど、よろしく申し上げます。

【事務局】

順不同で、お答えします。

まず上府中のスポーツ広場です。現在、南北に長くなっているコートを東西に配置換えして、駐車場の余裕を活用することで、図面上は可能だと思います。

企業関係の部分についてです。3年前に、グラウンド利用を開放しているところがあるかどうか、一般開放できるかどうかの調査を行ったことがあります。その時はあくまでも一般開放でしたので、なかなか難しいということもありましたが、今回は「酒匂川スポーツ広場が冠水して使用不可の場合、代替施設として限定期間限定で使えないか」というご相談を改めてしたところ、数社感觸の良いところがありました。そうしたところで正確にOKが出れば、詳細協議に進んでいきたいと思っております。

プールについてです。仮に御幸の浜プールが閉場となった場合、学校プールは難しいと思いますが、市内にある民間プール3施設にお願いしていくか、広域で南足柄も含めて、当面は使っていこうと思っております。

小峰庭球場のテニスコートの面数不足についてです。まず、小峰というより、関連する城山庭球場についてですが、これまでも市の内部で、「テニスガーデンができたので城山庭球場の役目は終わったのではないか」という話があり、城山庭球場をなくすという選択肢もあったと捉えています。しかし、いろいろ調べてみると、小田原市内の庭球場の面数が近隣他市より少ないことがわかりました。非常に古いテニスコートですから、少なくともコート面についてはしっかり整備をして、競技ができる状態にします。管理棟をどこまで直すかという問題もありますが、今は少なくとも、しっかり整備されたテニスコートを作った方が良いと思っています。

城山庭球場は8面ありますので、テニスガーデンと合わせると全部で24面になります。小峰は、コートのひび割れが顕著な施設であるため、ここも手を入れると分散感が多くなります。城山テニスコートは昼間の時間帯は空いていることがありますが、小峰は意外と昼間に使う方がいらっしやいます。その時間帯の特性を上手く利用して、城山を人工芝のオムニコートにすれば使う人も増えるのではないかと思います。従って両施設を統合する形で整理できればと考えています。

配点と優先順位の基準についてです。基本的には、100点満点という考えではなく、積み上げ方式で考えています。今はまだ配点が決まっていないですが、具体の一定基準を設け、積み上げて点数の高いものの優先順位を高くしようと思います。しかし、数字で出たものをそのままやって良いかという問題もあります。第5回に我々のイメージを出しますが、皆様のご意見を参考にしながら優先順位を決めていこうと考えています。

【柳澤委員長】

最後の優先順位に関しては、なかなか難しいと思います。点数を足していくということですが、「機能・安全性」の話では、危ない施設を優先的にやらないといけないなど、指標によって優先順位が変わってくる可能性もあると思います。

あとは経済的なところですね。例えば、必ずしも全て公共がやるのではなく、公民連携や民営化を導入できないかなど、受益者負担を大々的に入れられる施設なのか、そうではなくてきちんと公共としてやるべきなのかなどを考慮する必要があります。また利用率や、満足度が高いから重要度も高いとは言えない部分があると思うので、慎重に決めていく必要がある気がしております。

関連して、御幸の浜プールについてです。プールが不足する場合、新プール建設検討という方向ですが、これはやってみて不足する場合には検討するということでしょうか。現時点では、その辺の状況は判断できないということですか。

【事務局】

現時点では、プールの新設に係るニーズ調査をしていません。先ほど話があったように、実は今年の2月に神奈中スイミングがなくなってしまいました。そこにスイミングで行っていた人たちもたくさんいらっしやると思います。神奈中さんと市内の民間プールが、他のプールに移行できるように申込みなどを上手く連携してやってくれたようです。それで、神奈中でやっていた方の中には、他のプールに移動した方もいらっしやいます。

また、小田原市ではないですが、小田原に近い位置に「レオスイミング」というスイミングプールがあります。その辺を含めると意外とプールはありますので、現時点では「プールが足りない」という声がすごく大きく届いているわけではありません。

プールがどうしても足りないとすれば、当然、我々や市、他のセクションに「プールが足りな

い」という声が届きますので、現時点ではなんとかなっているレベルだと考えています。

先ほど話があったように、もし他にも閉場しなければいけないプールが出てきた場合は、状況が変わると思います。その場合は、内部でも相談しながらアンケートなどを上手く使ってプールの状況を把握し、大きく「プールが足りない」という声や数値的な情報が出た場合、整備することも検討せざるを得ないと考えております。

【柳澤委員長】

今後、調べるということですね。これだけ猛暑が続くと、逆に今年はニーズが高くて、冷夏になると低いなどの季節による差も出てくる可能性があります。

他に何かご意見はありますか。関連することでも、別のことでも結構です。

【水谷委員】

感想です。酒匂川スポーツ広場の長寿命化は、競技団体の方が要望されていると思います。今日の暑さも含め、酒匂川の冠水も、気候変動の問題がとても大きいと思います。

次回ということでしたが、資料2にいくつか再エネの活用や施設について書かれています。このメッセージが小田原市から出るのはとても良いと感じています。

実はJリーグでも話題になっており、気候変動に対してスポーツ業界は向き合わなければならぬと思っています。そのような中でこうした資料が出てきて、それぞれの施設で本当に再エネを利用するというのは、非常に良いメッセージだと思いました。

【柳澤委員長】

貴重なご意見だと思います。他に何かご質問やご意見等ありますか。

それでは、ほぼ意見も出たので次の議題に移りたいと思います。会議の公開はここまでということで、ここから非公開として進めさせていただければと思います。

【柳澤委員長】

よろしいですか。それでは、その他に何かご意見やご質問はありますか。

それでは大体皆さんの意見も出たと思うので、意見交換はここまでとさせていただきたいと思えます。議事については以上となります。

次第3「その他」として、事務局から何かありますか。

【事務局】

その他です。今回は第4回で、次が第5回になります。全部で6回の構成ですので、次回は10月16日の午後、今日と同じような時間帯を想定します。正式にはまたお知らせしますが、皆さんの方でご都合を調整していただければと思います。

内容は、今日は我々としてこれから整理していかなければいけないものをお示ししました。今日いただいたご意見と、この後のアンケートで書き込んでいただく意見などを含めて、第5回目の資料に盛り込んでいこうと思います。

今日は雑多な資料をまとめた感じになったのですが、第5回目は最終報告の叩き台のような資料を皆さんにご提示すると思います。ある程度まとまった形、報告書のような形になると思います。

そこに、これまでご議論いただいた内容を盛り込みます。また今日は資料2の線表も全てを説明できていないですが、この辺りも含めて皆さんにお示しして、揉んでいただきます。

最後は、年末12月の終わり頃に第6回目を迎えていきたいと思っています。今日いただいた意見、それからこの後のアンケート用紙にも書き込んでいただくご意見を含めて検討いたしますので、よろしくお願いいたします。以上です。

【柳澤委員長】

ただいま事務局から、第5回の会議に向けた進め方と会議日程について、10月16日の午後、同じ時間との説明がありました。何かご質問等ありますか。

それでは、以上をもちまして予定しておりました内容は全て終了いたしましたので、進行を司会に戻させていただきます。円滑な会議の進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。

【司会】

皆様、長時間にわたりご審議いただきまして誠にありがとうございました。これをもちまして、「小田原市スポーツ施設整備基本計画策定検討委員会 第4回会議」を閉会いたします。ありがとうございました。

以上